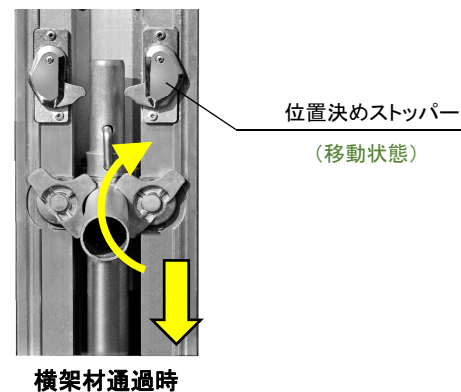
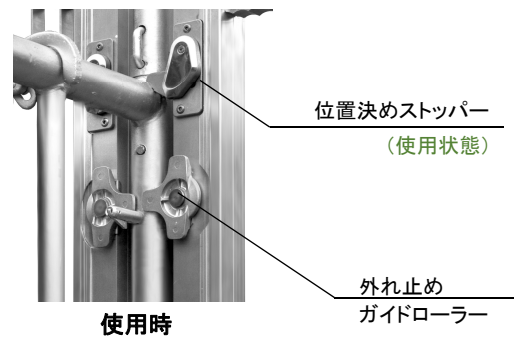
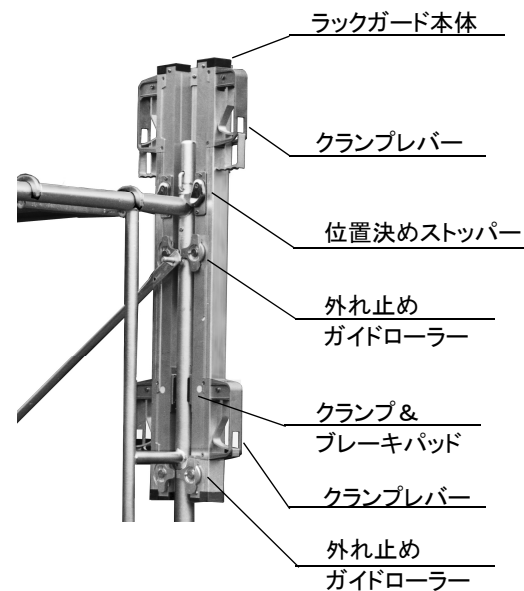


● ラックガードシステムとは

- ① 1層分のラックガードシステムがあれば、安全に足場の組立、解体作業が行なえ経済的です。
- ② ラックガードシステムの組立・解体に工具は不要です。
- ③ 上下移動や固定は1人で簡単に行なえます。
- ④ 建柱端部やコーナー部も手摺の組合せでカバーできます。
- ⑤ 手すりの高さが鋼製布板から95cmあり、墜落転落を防止できます。
- ⑥ 特殊支柱でクランプ抱きのコーナー部にも取付可能です。
- ⑦ (社) 仮設工業会 単品承認取得。100kgの落下阻止試験合格。

● ラックガードシステムの安全機能

- ① 建柱支柱をレールにして上下移動できます。
- ② 特許のガイドローラーで横架材等も通過できます。
- ③ ガイドローラーは常に建柱支柱を保持して、脱落することがありません。
- ④ ブレーキ装置を備えており、万が一に手を離しても落下しません。
- ⑤ 軽く、錆びにくいアルミ合金製です。

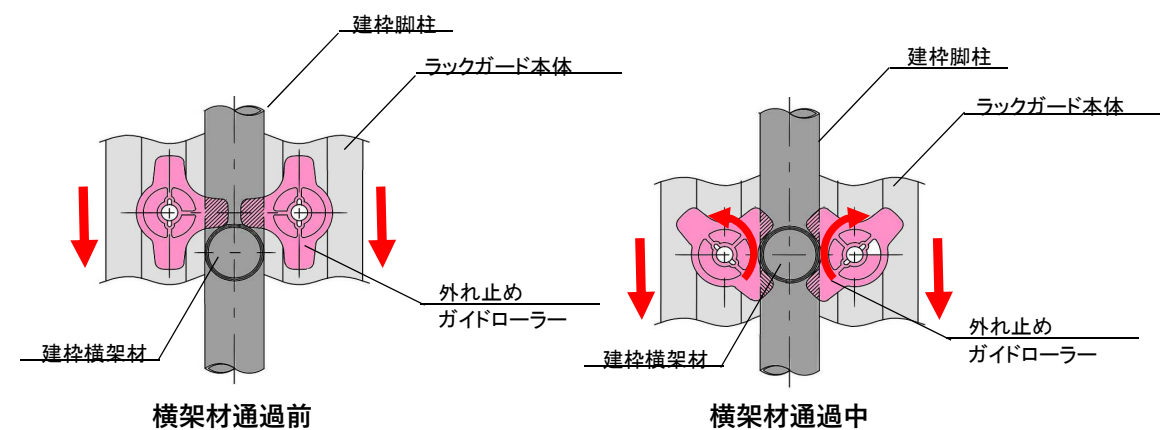


◆ ラックガード本体の操作

	移動時	固定時
クラмпレバー操作	クラмпレバーを開く 	クラмпレバーを閉じる
位置決めストッパーの動き		
クラмп&ブレーキパッドの動き		

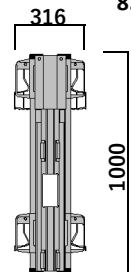
- ・上下のクランプレバーは連動しています。
- ・クランプレバーを開くと、位置決めストッパーが開き、ブレーキが解除され、上下動が可能となり横架材等を通過できます。
上下移動する時はクランプレバーを開く。
使用状態では位置決めストッパーを横架材に乗せる。
- ・クランプレバーを離すとブレーキが効きます。
- ・クランプレバーを閉じる(押し込む)とブレーキパッドが支柱を圧着します。
使用状態ではクランプレバーを押し込む。
- ・外れ止めガイドローラーはクランプレバーの操作に関係なく回転します。

◆ 外れ止めガイドローラーの動き

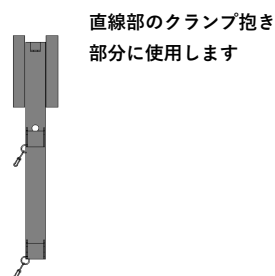


■ 部 材

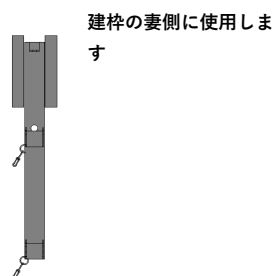
ラックガード 本体 ARG-100 8.6kg



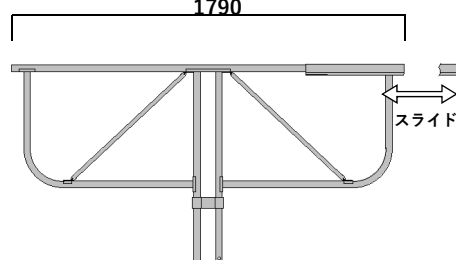
特殊本体 ARG-70 4.0kg



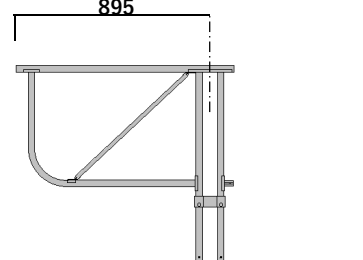
特殊本体 ARG-80 4.0kg



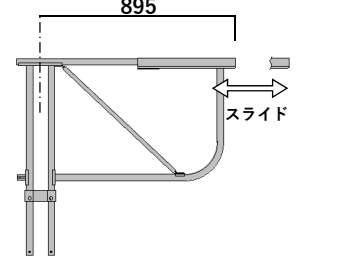
標準手摺 ARG-180 4.7kg 1829 (1800) 用 1790



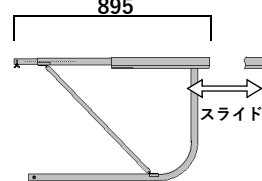
役物手摺 ARG-18L 3.1kg 1829 (1800) 用 895



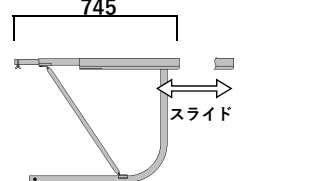
役物手摺 ARG-18L 3.4kg 1829 (1800) 用 895



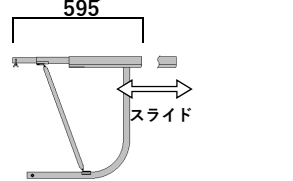
役物手摺 ARG-18HR 1.7kg 1829 (1800) 用 895



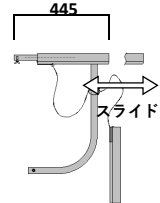
役物手摺 ARG-15HR 1.6kg 1524 (1500) 用 745



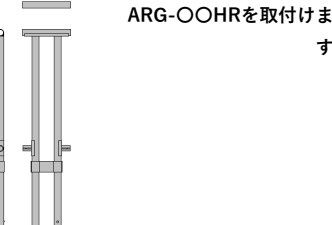
役物手摺 ARG-12HR 1.3kg 1219 (1200) 用 595



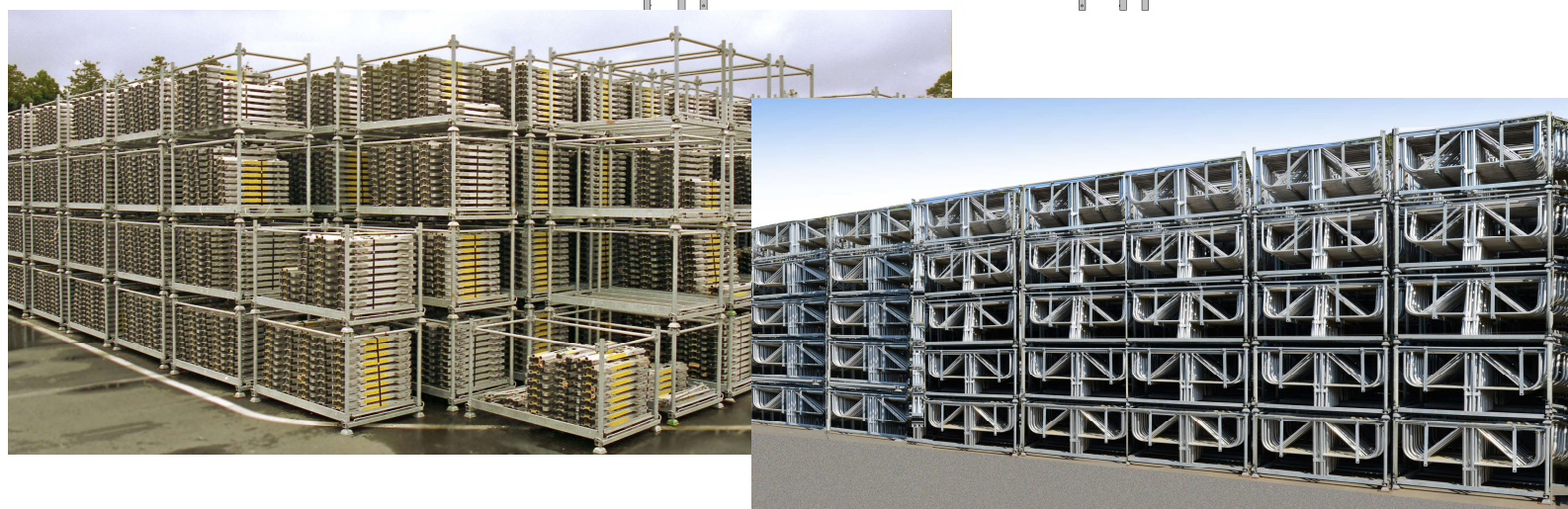
役物手摺 ARG-09HR 1.0kg 914 (900) 用 445



役物手摺柱 ARG-01 2.0kg 直線部用 ARG-00HRを取付けます



役物手摺柱 ARG-01C 1.9kg コーナー部用 ARG-00HRを取付けます



■ 組立手順

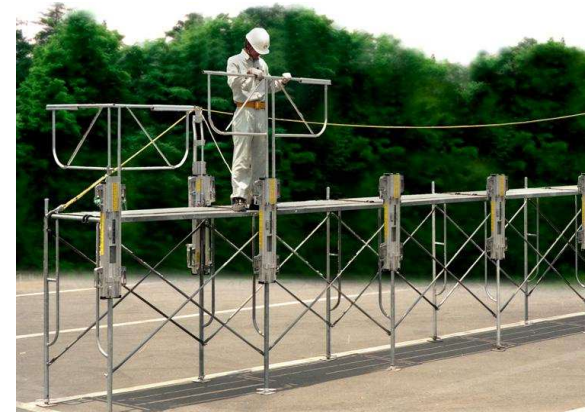
① 親綱支柱、親綱をセットしておく
親綱支柱使用手順を参照下さい。



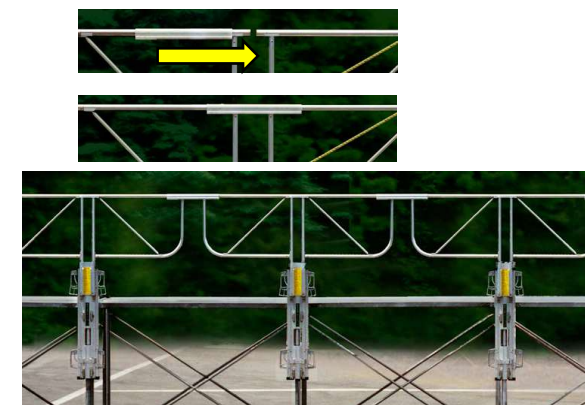
② ラックガード本体を建枠に取付ける
位置決めストッパーが建枠の横架材に当たるところで、クランプを閉じて固定します。



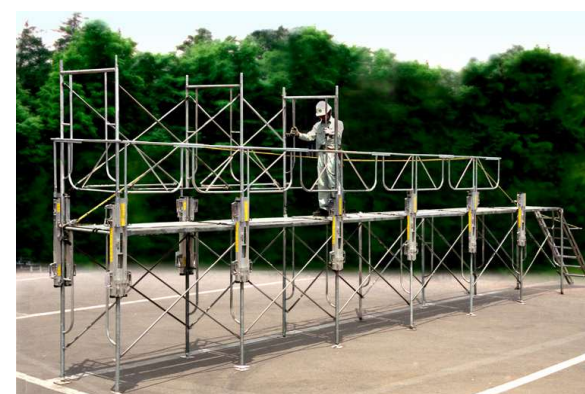
③ 手摺をラックガード本体に差込む
抜け止めのロックピンが出ていることを確認して下さい。



④ 手摺同士を連結する
ジョイントガイドをスライドし、手摺同士を連結します。



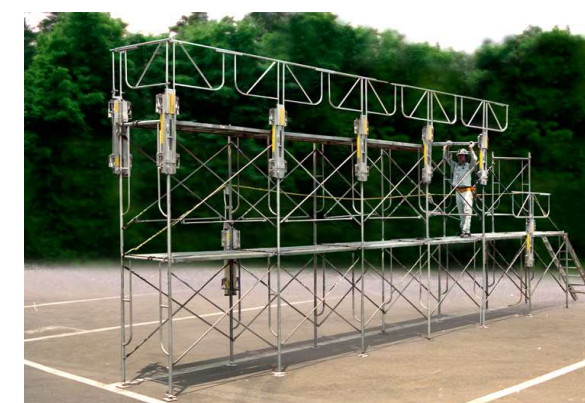
⑤ 建枠、筋違を組立てる
抜け止めのロックピンが出ていることを確認して下さい。



⑥ ラックガードを上段へ移動

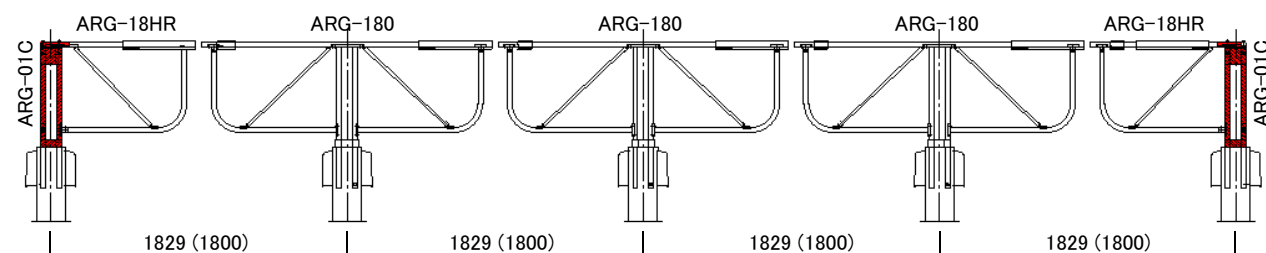


⑦ 上段の鋼製布板を架ける
ラックガードの移動後に鋼製布板を設置して下さい。

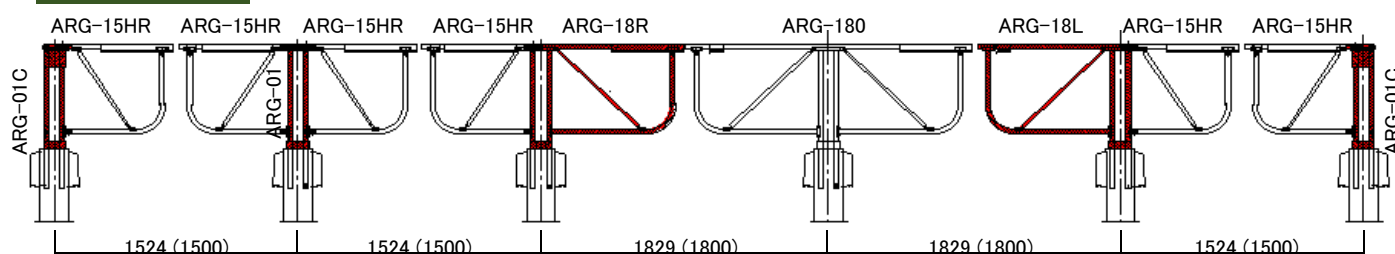


■ 組合せパターン

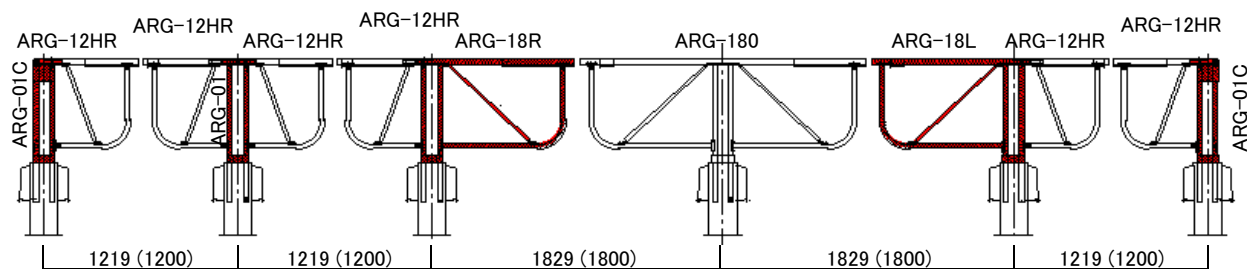
1829・1800



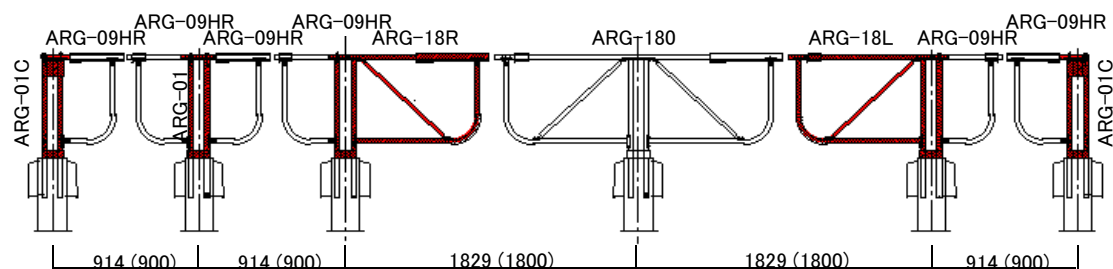
1524・1500



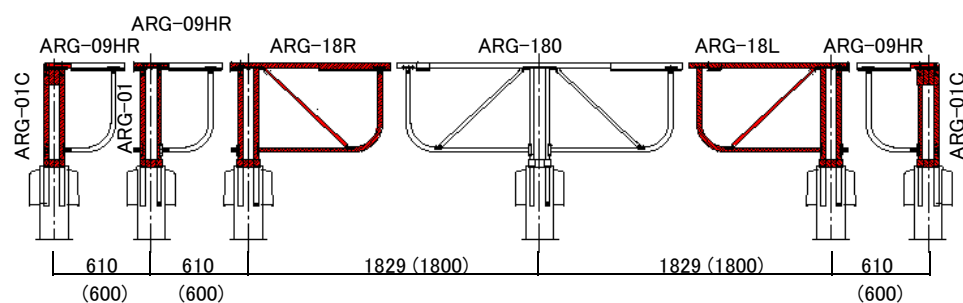
1219・1200



914・900



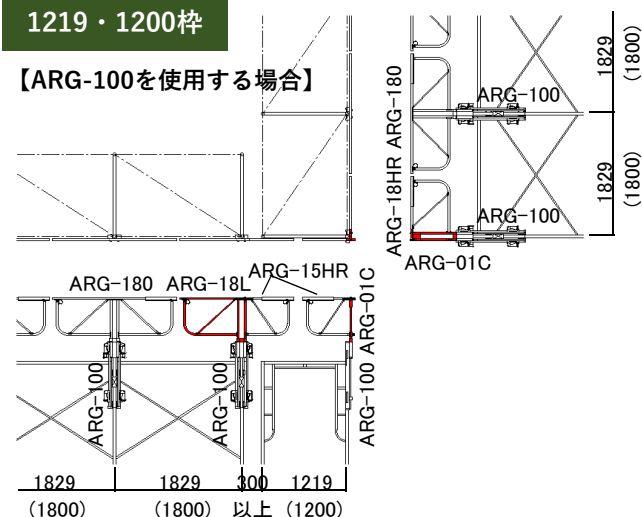
610・600



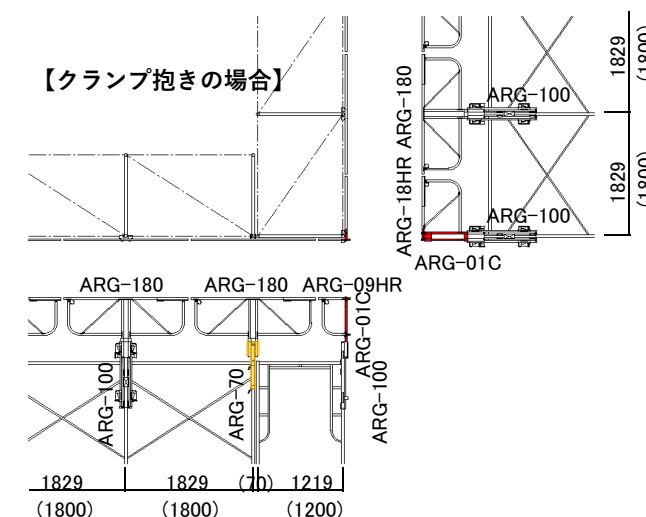
■ 妻側パターン

1219・1200枠

【ARG-100を使用する場合】

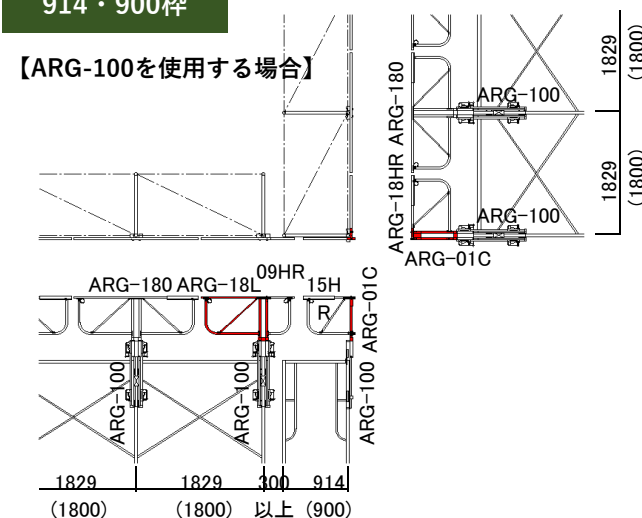


【クランプ抱きの場合】

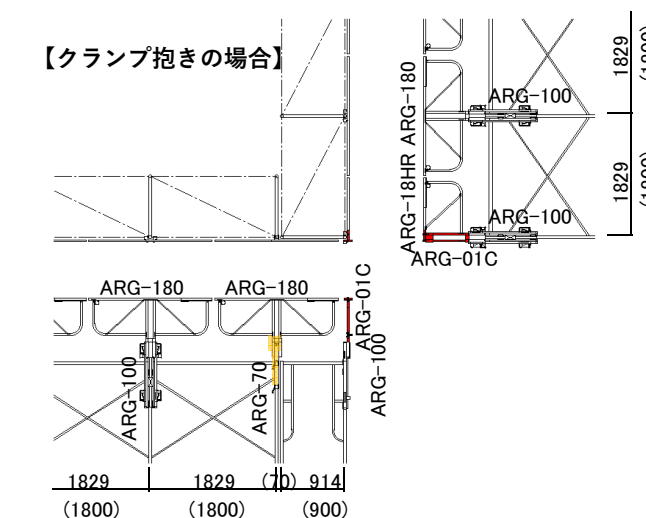


914・900枠

【ARG-100を使用する場合】

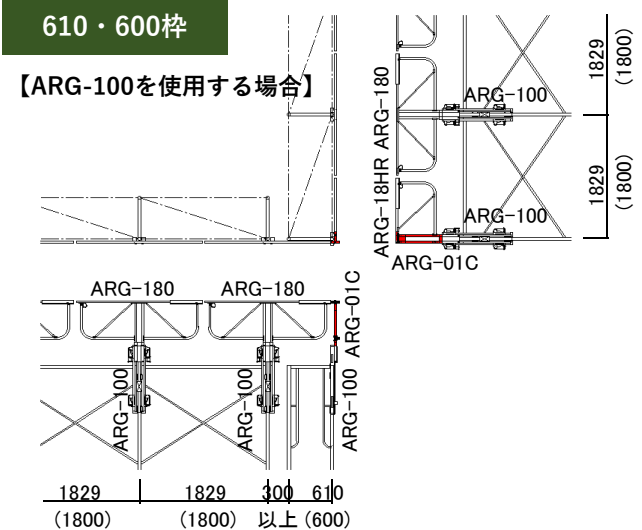


【クランプ抱きの場合】



610・600枠

【ARG-100を使用する場合】



【クランプ抱きの場合】

